

日本医師会調査

「看護職員が行う医行為の範囲に関する調査」

結 果

平成22年10月

日本医師会

回答者の属性

1. 回答数

➤ 医師・看護職員9,120名(各4,560名)を対象に回答をお願いしたところ、7,000名を超える方から回答をいただいた。回答率は77%であり、この問題に対する関心の高さが窺える。

・厚生労働科学研究班の調査の回答率は16.9%(8,104名)であった。

		回答数	回答率
医師		3,525	77.3%
看護職員	看護師	2,699	76.8%
	准看護師	738	
	未回答	69	
	計	3,506	
合計		7,031	77.0%

2. 医療機関の種別

➤ 病院と診療所(有床・無床)の割合はほぼ半々であった。

・研究班の調査は、調査の設定段階で対象や施設数で日医調査とは差があるが、回答数の83.3%(6,747名)が病院で、診療所は3.1%(253名)であり、病院中心の回答となっている。

医療機関種別	医師		看護職員	
	回答数	比率	回答数	比率
病院	1,868	53.0%	1,888	53.9%
有床診療所	354	10.0%	354	10.1%
無床診療所	1,279	36.3%	1,224	34.9%
その他	3	0.1%	17	0.5%
未回答	21	0.6%	23	0.7%
合計	3,525	100.0%	3,506	100.0%

3. 病院の病床規模

➤ 日医の調査では、病院回答のうち、199床以下が約6割を占めている。回答者は、全国の病院の病床規模別割合から見ても、平均的に抽出した形となっている。

・研究班の調査は、病院医師回答(2,224名)のうち65.2%(1,449名)、病院看護師回答(4,523名)のうち59.7%(2,701名)が500床以上であり、大病院中心の回答となっている。

病床規模 ※()内 21年10月現在の全国の病院の割合	医師		看護職員	
	回答数	比率	回答数	比率
20~99床 (37.7%)	525	28.1%	512	27.2%
100~199床 (31.4%)	561	30.0%	585	31.0%
200~299床 (12.8%)	241	12.9%	230	12.2%
300~399床 (8.4%)	183	9.8%	188	10.0%
400~499床 (4.2%)	114	6.1%	105	5.8%
500床以上 (5.2%)	134	7.2%	133	7.1%
未回答	108	5.8%	131	7.0%
合計	1,866	100.0%	1,884	100.0%

4. 年齢

➤ 医師については50歳以上が84.5%を占めている。

・研究班の調査は、医師については40～49歳が37.1%(898名)、50歳以上が38.3%(928名)となっている。

年齢区分	医師		看護職員	
	回答数	比率	回答数	比率
～29歳	2	0.1%	55	1.6%
30～39歳	69	2.0%	389	11.1%
40～49歳	445	12.6%	1,216	34.7%
50歳以上	2,978	84.5%	1,787	51.0%
未回答	31	0.9%	59	1.7%
合計	3,525	100.0%	3,506	100.0%

5. 管理者・勤務医の別【医師】 管理職の別【看護職員】

➤ 医師については、管理者・理事長が約8割を占めている。看護職員については、看護師長等(管理職)が約6割であった。

管理者・勤務医の別	医師		管理職の別	看護職員	
	回答数	比率		回答数	比率
管理者・理事長	2,809	79.7%	看護師長等(管理職)	2,095	59.8%
勤務医	675	19.1%			
その他	16	0.5%	上記以外	1,346	38.4%
未回答	25	0.7%	未回答	65	1.9%
合計	3,525	100.0%	合計	3,506	100.0%

6. 主たる診療科【医師】 所属する診療科【看護職員】

➤ 医師、看護職員ともに、内科系が5割を超えている。

診療科	医師		看護職員	
	回答数	比率	回答数	比率
外科系	1,433	40.7%	1,050	29.9%
内科系	2,053	58.2%	1,878	53.6%
未回答	39	1.1%	578	16.5%
合計	3,525	100.0%	3,506	100.0%

7. 厚生労働科学研究班の調査対象にも選ばれ、回答したか。

➤ 医師114名、看護職員175名が、両方の調査に回答していた。

研究班調査に回答	医師		看護職員	
	回答数	比率	回答数	比率
はい	114	3.2%	175	5.0%
いいえ	3,332	94.5%	3,189	91.0%
未回答	79	2.2%	142	4.1%
合計	3,525	100.0%	3,506	100.0%

「現在看護職員が実施している」30%超 降順リスト
(医師回答)

各医療処置項目			日医調査	研究班調査
			医師回答	医師回答
1	103	導尿・留置カテーテルの挿入の実施	77.7%	70.2%
2	134	末梢血管静脈ルートの確保と輸液剤の投与	76.6%	63.8%
3	28	12誘導心電図検査の実施	66.1%	63.0%
4	132	低血糖時のブドウ糖投与	58.1%	66.1%
5	68	創部洗浄・消毒	56.9%	57.4%
6	127	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(気管切開等の小手術助手)	51.8%	16.1%
7	156	下剤(坐薬も含む)の選択・使用	50.4%	42.4%
8	13	造影剤使用検査時の造影剤の投与	49.6%	31.6%
9	168	創傷被覆材(ドレッシング材)の選択・使用	47.5%	44.4%
10	31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	44.9%	40.0%
11	188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	44.8%	43.5%
12	140	予防接種の実施	43.7%	40.3%
13	167	外用薬の選択・使用	43.7%	37.0%
14	163	解熱剤の選択・使用	42.6%	37.1%
15	126	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(手術の第一・第二助手)	42.3%	10.8%
16	162	鎮痛剤の選択・使用	40.0%	34.9%
17	196	患者・家族・医療従事者教育	39.7%	44.3%
18	116	拘束の開始と解除の判断	39.2%	41.9%
19	125	手術執刀までの準備(体位、消毒)	38.0%	25.6%
20	169	睡眠剤の選択・使用	37.4%	31.8%
21	111	経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	36.3%	23.9%
22	160	制吐剤の選択・使用	35.7%	30.6%
23	1	動脈ラインからの採血	35.1%	63.4%
24	161	止痢剤の選択・使用	33.4%	26.2%
25	37	微生物学検査の実施:スワブ法	33.3%	39.7%
26	159	整腸剤の選択・使用	32.2%	23.5%
27	135	心肺停止患者への気道確保、マスク換気	32.0%	40.5%
28	157	胃薬:制酸剤の選択・使用	31.0%	19.7%
29	158	胃薬:胃粘膜保護剤の選択・使用	30.5%	20.7%

※「現在看護職員が実施している」割合＝「現在看護職員が実施」／（「現在看護職員が実施」＋「現在看護職員以外の職種のみが実施」）
(研究班と同様の算出方法)

**「現在看護職員が実施している」30%超 降順リスト
(看護職員回答)**

			日医調査	研究班調査
各医療処置項目			看護職員回答	看護師回答
1	103	導尿・留置カテーテルの挿入の実施	88.1%	86.5%
2	134	末梢血管静脈ルート確保と輸液剤の投与	86.9%	77.1%
3	28	12誘導心電図検査の実施	74.9%	66.7%
4	132	低血糖時のブドウ糖投与	72.0%	81.2%
5	156	下剤(坐薬も含む)の選択・使用	63.3%	63.1%
6	168	創傷被覆材(ドレッシング材)の選択・使用	63.3%	73.4%
7	68	創部洗浄・消毒	62.5%	65.6%
8	167	外用薬の選択・使用	58.1%	57.8%
9	196	患者・家族・医療従事者教育	57.7%	78.8%
10	13	造影剤使用検査時の造影剤の投与	56.2%	34.2%
11	163	解熱剤の選択・使用	56.1%	58.0%
12	162	鎮痛剤の選択・使用	55.0%	57.2%
13	135	心肺停止患者への気道確保、マスク換気	54.5%	66.0%
14	116	拘束の開始と解除の判断	53.7%	59.5%
15	111	経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	52.9%	35.3%
16	31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	51.7%	46.3%
17	169	睡眠剤の選択・使用	51.6%	52.7%
18	160	制吐剤の選択・使用	50.9%	53.9%
19	140	予防接種の実施	50.0%	49.0%
20	161	止痢剤の選択・使用	49.3%	51.4%
21	159	整腸剤の選択・使用	48.3%	48.7%
22	127	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(気管切開等の小手術助手)	48.3%	13.6%
23	188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	48.2%	59.0%
24	157	胃薬:制酸剤の選択・使用	47.2%	44.7%
25	158	胃薬:胃粘膜保護剤の選択・使用	46.4%	44.4%
26	171	抗不安薬の選択・使用	42.6%	41.2%
27	102	導尿・留置カテーテルの挿入及び抜去の決定	41.7%	53.8%
28	125	手術執刀までの準備(体位、消毒)	40.4%	26.7%
29	170	抗精神病薬の選択・使用	40.3%	39.4%
30	126	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(手術の第一・第二助手)	40.3%	8.5%
31	187	訪問看護の必要性の判断、依頼	39.6%	66.4%
32	175	基本的な輸液:糖質輸液、電解質輸液の選択・使用	39.0%	27.7%
33	67	浣腸の実施の決定	38.6%	56.8%
34	37	微生物学検査の実施:スワブ法	37.6%	40.6%
35	137	血液透析・CHDFの操作、管理	37.4%	17.9%
36	141	特定健診などの健康診査の実施	37.2%	14.2%
37	1	動脈ラインからの採血	36.7%	52.4%
38	197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	36.6%	35.4%
39	172	ネブライザーの開始、使用薬液の選択	36.5%	36.0%
40	182	硬膜外チューブからの鎮痛剤の投与(投与量の調整)	36.3%	18.8%
41	165	抗けいれん薬(小児)の選択・使用	34.6%	36.7%
42	166	インフルエンザ薬の選択・使用	34.3%	30.2%
43	56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	33.8%	48.5%
44	114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	33.5%	27.7%
45	195	退院サマリー(病院全体)の作成	33.3%	30.2%
46	63	人工呼吸管理下の鎮静管理	33.1%	23.7%
47	198	他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	32.5%	45.2%
48	164	去痰剤(小児)の選択・使用	32.2%	38.5%
49	89	胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	31.6%	21.1%

※「現在看護職員が実施している」割合＝「現在看護職員が実施」／(「現在看護職員が実施」＋「現在看護職員以外の職種のみが実施」)
(研究班と同様の算出方法)

「今後看護職員の実施が可能」降順リスト（医師回答）

～「看護職員が可能」が「医師がすべき」を上回るもの～

研究班調査では、当該医療処置が現在行われていない場合、「今後について」は回答できない仕組みとなっているが、日医の調査では、現在行われているか否かにかかわらず、全員に回答を求めた。

- 「今後看護職員（※看護職員（一般）＋特定看護師（仮称））の実施が可能」と答えた割合が50%を超える項目は、日医調査では医師の回答で38項目、看護職員の回答で36項目であった。研究班調査では医師の回答で112項目、看護職員の回答で84項目であった。

医療処置項目	日医調査						研究班調査					
	医師がすべき	看護職員が可能				降順	医師がすべき	看護職員が可能				
		計	看護職員（一般）	特定看護師（仮称）	計			看護職員（一般）	特定看護師（仮称）			
1 28	12誘導心電図検査の実施	13.4%	83.7%	72.8%	10.9%	1	4.7%	95.3%	78.8%	16.5%		
2 68	創部洗浄・消毒	16.0%	81.2%	65.2%	16.1%	6	9.3%	90.7%	66.9%	23.8%		
3 103	導尿・留置カテーテルの挿入の実	20.0%	76.5%	62.8%	13.7%	5	8.0%	92.0%	74.7%	17.3%		
4 132	低血糖時のブドウ糖投与	22.6%	75.0%	59.0%	16.0%	2	5.8%	94.2%	74.4%	19.8%		
5 31	感染症検査（インフルエンザ・ノロウイルス等）の実施	22.2%	75.0%	61.0%	14.0%	7	10.7%	89.3%	66.6%	22.7%		
6 134	末梢血管静脈ルートの確保と輸液剤の投与	23.3%	73.9%	58.8%	15.1%	4	7.4%	92.6%	72.2%	20.4%		
7 140	予防接種の実施	25.8%	71.5%	57.0%	14.5%	9	12.8%	87.2%	63.1%	24.1%		
8 188	日々の病状、経過の補足説明（時間をかけた説明）	26.8%	70.6%	47.8%	22.8%	17	17.0%	83.0%	49.7%	33.3%		
9 196	患者・家族・医療従事者教育	31.4%	65.3%	37.2%	28.0%	12	15.0%	85.0%	44.5%	40.4%		
10 197	栄養士への食事指導依頼（既存の指示内容で）	34.7%	62.7%	41.3%	21.4%	11	14.0%	86.0%	48.1%	37.9%		
11 156	下剤（坐薬も含む）の選択・使用	35.7%	62.0%	50.2%	11.7%	23	22.1%	77.9%	56.6%	21.3%		
12 168	創傷被覆材（ドレッシング材）の選択・使用	35.4%	61.9%	48.3%	13.6%	21	19.6%	80.4%	50.6%	29.7%		
13 167	外用薬の選択・使用	37.9%	59.9%	48.4%	11.5%	30	25.0%	75.0%	51.2%	23.8%		
14 135	心肺停止患者への気道確保、マスク換気	38.7%	58.6%	38.5%	20.1%	13	15.6%	84.4%	55.1%	29.3%		
15 127	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持（気管切開等の小手術助手）	37.2%	58.3%	37.3%	21.0%	31	25.1%	74.9%	30.7%	44.2%		
16 125	手術執刀までの準備（体位、消毒）	38.6%	57.3%	38.8%	18.5%	32	27.9%	72.1%	41.0%	31.1%		
17 187	訪問看護の必要性の判断、依頼	40.4%	57.0%	34.8%	22.2%	10	13.8%	86.2%	47.3%	38.9%		
18 136	心肺停止患者への電氣的除細動実施	40.4%	56.6%	35.2%	21.4%	20	19.0%	81.0%	43.3%	37.7%		
19 159	整腸剤の選択・使用	41.4%	56.3%	44.7%	11.6%	37	28.8%	71.2%	47.0%	24.2%		
20 1	動脈ラインからの採血	41.3%	56.1%	39.3%	16.8%	3	6.2%	93.8%	78.4%	15.3%		
21 67	浣腸の実施の決定	42.0%	55.5%	40.8%	14.7%	16	16.2%	83.8%	63.6%	20.2%		
22 37	微生物学検査の実施：スワブ法	41.0%	55.4%	42.3%	13.0%	14	15.7%	84.3%	61.3%	23.1%		
23 199	家族療法・カウンセリングの依頼	41.2%	55.4%	32.8%	22.6%	15	16.2%	83.8%	41.1%	42.6%		
24 3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	41.9%	55.2%	34.4%	20.8%	8	12.3%	87.7%	59.3%	28.3%		
25 163	解熱剤の選択・使用	42.6%	55.2%	45.2%	10.0%	42	30.9%	69.1%	46.4%	22.7%		
26 160	制吐剤の選択・使用	43.3%	54.6%	44.2%	10.4%	40	30.5%	69.5%	45.9%	23.6%		
27 158	胃薬：胃粘膜保護剤の選択・使用	43.6%	54.2%	43.2%	11.0%	52	33.5%	66.5%	42.9%	23.7%		
28 161	止痢剤の選択・使用	43.9%	54.0%	43.5%	10.6%	51	33.3%	66.7%	43.4%	23.3%		
29 13	造影剤使用検査時の造影剤の投	43.3%	53.8%	41.5%	12.3%	19	18.6%	81.4%	54.5%	26.9%		
30 198	他の介護サービスの実施可・不可の判断（リハビリ、血圧・体温など）	43.4%	53.8%	33.5%	20.3%	28	24.3%	75.7%	42.6%	33.1%		
31 157	胃薬：制酸剤の選択・使用	44.1%	53.7%	42.5%	11.2%	66	37.1%	62.9%	39.4%	23.5%		
32 114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	43.6%	53.5%	33.8%	19.7%	29	24.4%	75.6%	40.6%	35.0%		
33 141	特定健診などの健康診査の実施	43.6%	53.4%	37.0%	16.3%	57	34.4%	65.6%	33.9%	31.7%		
34 162	鎮痛剤の選択・使用	45.2%	52.8%	43.3%	9.4%	53	33.7%	66.3%	43.7%	22.6%		
35 72	胼胝・鶏眼処置（コーンカッター等用いた処置）	44.3%	52.4%	32.6%	19.8%	49	33.0%	67.0%	30.1%	36.9%		
36 126	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持（手術の第一・第二助手）	43.5%	52.3%	30.3%	22.0%	61	35.9%	64.1%	21.3%	42.8%		
37 61	経口・経鼻挿管チューブの抜管	45.5%	51.7%	27.3%	24.3%	79	41.1%	58.9%	18.4%	40.6%		
38 189	リハビリテーション（嚥下、呼吸、運動機能アップ等）の必要性の判断、依頼	46.5%	51.2%	30.2%	21.0%	22	21.9%	78.1%	35.3%	42.8%		
39 45	血流評価検査（ABI/PWV/SPP）検査の実施	46.2%	48.9%	30.3%	18.6%	45	31.7%	68.3%	28.8%	39.5%		

「今後看護職員の実施が可能」降順リスト（看護職員回答）
 ～「看護職員が可能」が「医師がすべき」を上回るもの～

研究班調査では、当該医療処置が「現在実施されていない」場合、「今後について」は回答できない仕組みとなっているが、日医の調査では、現在実施しているか否かにかかわらず、全員に回答を求めた。

＜看護職員回答 降順＞

		日医調査				研究班調査					
		看護職員回答				看護師回答					
		医師が すべき	看護職員が可能			降順	医師が すべき	看護師が可能			
医療処置項目	計		看護職員 (一般)	特定看護師 (仮称)	計			看護師 一般	特定看護師 (仮称)		
1	28	12誘導心電図検査の実施	8.6%	88.6%	78.5%	10.1%	3	6.4%	93.6%	80.1%	13.5%
2	103	導尿・留置カテーテルの挿入の実施	13.1%	83.3%	74.5%	8.7%	4	6.6%	93.4%	86.1%	7.3%
3	68	創部洗浄・消毒	15.4%	82.3%	66.2%	16.0%	8	11.0%	89.0%	67.5%	21.5%
4	134	末梢血管静脈ルートの確保と輸液剤の投与	17.8%	79.5%	68.9%	10.5%	5	6.9%	93.1%	78.8%	14.3%
5	132	低血糖時のブドウ糖投与	18.2%	79.3%	67.9%	11.4%	1	5.1%	94.9%	83.1%	11.8%
6	31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウィルス等)の実施	23.6%	74.2%	59.9%	14.3%	21	18.2%	81.8%	59.3%	22.4%
7	168	創傷被覆材(ドレッシング材)の選択・使用	27.5%	69.8%	57.2%	12.6%	7	9.3%	90.7%	65.3%	25.4%
8	156	下剤(坐薬も含む)の選択・使用	29.2%	68.4%	59.3%	9.2%	13	14.9%	85.1%	68.4%	16.7%
9	196	患者・家族・医療従事者教育	27.5%	68.3%	37.6%	30.7%	6	7.9%	92.1%	57.8%	34.2%
10	188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	28.9%	68.1%	44.6%	23.5%	20	18.1%	81.9%	56.8%	25.0%
11	167	外用薬の選択・使用	30.3%	67.6%	57.2%	10.4%	18	17.7%	82.3%	61.6%	20.7%
12	187	訪問看護の必要性の判断、依頼	31.3%	65.8%	40.3%	25.5%	2	6.2%	93.8%	69.6%	24.2%
13	67	浣腸の実施の決定	32.9%	65.1%	50.3%	14.8%	9	12.1%	87.9%	69.6%	18.3%
14	197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	32.5%	64.3%	43.8%	20.5%	10	13.2%	86.8%	56.9%	29.8%
15	140	予防接種の実施	33.4%	64.2%	52.6%	11.6%	30	24.1%	75.9%	57.9%	18.0%
16	163	解熱剤の選択・使用	35.1%	62.7%	54.2%	8.5%	26	22.2%	77.8%	59.4%	18.4%
17	135	心肺停止患者への気道確保、マスク換気	34.5%	62.4%	46.5%	15.9%	11	13.5%	86.5%	68.0%	18.5%
18	159	整腸剤の選択・使用	35.3%	62.2%	52.7%	9.5%	23	21.0%	79.0%	59.6%	19.4%
19	198	他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	34.7%	61.9%	39.5%	22.4%	12	13.7%	86.3%	53.7%	32.7%
20	162	鎮痛剤の選択・使用	36.4%	61.7%	53.3%	8.4%	27	22.5%	77.5%	57.4%	20.1%
21	160	制吐剤の選択・使用	36.7%	61.3%	53.0%	8.4%	24	21.7%	78.3%	59.1%	19.2%
22	161	止痢剤の選択・使用	36.7%	61.3%	52.9%	8.4%	25	22.1%	77.9%	58.6%	19.3%
23	157	胃薬:制酸剤の選択・使用	37.6%	59.9%	50.9%	9.0%	35	26.3%	73.7%	54.1%	19.6%
24	158	胃薬:胃粘膜保護剤の選択・使用	37.6%	59.9%	50.7%	9.2%	34	26.1%	73.9%	54.2%	19.7%
25	114	安静度・活動や清潔の範囲の決定	37.1%	59.4%	41.2%	18.2%	28	22.6%	77.4%	46.9%	30.5%
26	189	リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	38.0%	59.2%	33.5%	25.7%	14	15.4%	84.6%	45.2%	39.4%
27	102	導尿・留置カテーテルの挿入及び抜去の決定	40.5%	56.4%	42.8%	13.7%	17	16.6%	83.4%	65.5%	18.0%
28	199	家族療法・カウンセリングの依頼	40.1%	55.7%	29.9%	25.8%	22	18.5%	81.5%	43.1%	38.4%
29	116	拘束の開始と解除の判断	41.3%	55.0%	40.3%	14.7%	15	16.1%	83.9%	62.3%	21.6%
30	125	手術執刀までの準備(体位、消毒)	43.3%	52.6%	33.8%	18.9%	63	41.3%	58.7%	33.6%	25.1%
31	111	経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	43.9%	52.4%	38.4%	14.0%	42	30.9%	69.1%	43.4%	25.7%
32	169	睡眠剤の選択・使用	46.0%	51.9%	45.1%	6.8%	41	30.8%	69.2%	50.8%	18.4%
33	172	ネブライザーの開始、使用薬液の選択	46.7%	50.7%	35.6%	15.1%	33	26.0%	74.0%	45.1%	28.9%
34	56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	46.8%	50.5%	29.2%	21.3%	16	16.4%	83.6%	50.7%	32.8%
35	141	特定健診などの健康診査の実施	46.5%	50.5%	36.0%	14.5%	86	52.3%	47.7%	17.9%	29.9%
36	136	心肺停止患者への電気的除細動実施	46.6%	50.2%	28.7%	21.6%	37	29.6%	70.4%	34.9%	35.6%
37	27	12誘導心電図検査の実施の決定	48.4%	49.0%	32.4%	16.6%	29	24.0%	76.0%	51.7%	24.3%
38	37	微生物学検査の実施:スワブ法	48.0%	48.7%	35.1%	13.6%	44	32.0%	68.0%	49.3%	18.6%

「今後特定看護師(仮称)の実施が可能」 20%超 降順リスト(医師回答)

- 「今後特定看護師(仮称)の実施が可能」と答えた割合で一番高かったのは、日医調査では、「患者・家族・医療従事者教育」であるが、28%に過ぎなかった。ただし、これについては「看護職員(一般)が可能」とする割合の方が高い。
- 一方、研究班の結果では、「特定看護師(仮称)が可能」が4割を超えるものも多く、日医調査とは対照的である。
- 2位以降についても、ほとんどが「医師が実施すべき」であるが、医師より「看護職員(一般)が可能」が大幅に上回るのは「日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)」である。
- 「看護職員(一般)が可能」より「特定看護師(仮称)が可能」が大きく上回るのは「腹部超音波の実施」「人工呼吸器モードの設定・変更の判断・実施」「心臓超音波検査の実施」であるが、これらについても「医師が実施すべき」との回答が6割を超える。

※ 緑色の項目は「看護職員が可能」より「特定看護師(仮称)が可能」の方が割合が高い項目

医療処置項目		日医調査			研究班調査			
		特定看護師(仮称)が可能	看護職員が可能	医師がすべき	特定看護師(仮称)が可能	看護職員(一般)が可能	医師がすべき	
1	196	患者・家族・医療従事者教育	28.0%	37.2%	31.4%	40.4%	44.5%	15.0%
2	57	気管カニューレの選択・交換	25.9%	20.6%	50.2%	46.9%	19.1%	34.0%
3	59	挿管チューブの位置調節(深さの調整)	25.7%	21.7%	49.7%	43.6%	33.0%	23.3%
4	78	体表面創の抜糸・抜鉤	24.7%	23.7%	48.9%	44.5%	22.9%	32.6%
5	61	経口・経鼻挿管チューブの抜管	24.3%	27.3%	45.5%	40.6%	18.4%	41.1%
6	18	腹部超音波検査の実施	23.3%	6.7%	66.7%	45.2%	5.9%	49.0%
7	188	日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	22.8%	47.8%	26.8%	33.3%	49.7%	17.0%
8	199	家族療法・カウンセリングの依頼	22.6%	32.8%	41.2%	42.6%	41.1%	16.2%
9	16	経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施	22.2%	17.5%	56.4%	41.0%	27.4%	31.6%
10	187	訪問看護の必要性の判断、依頼	22.2%	34.8%	40.4%	38.9%	47.3%	13.8%
11	62	人工呼吸器モードの設定・変更の判断・実施	22.0%	8.6%	66.2%	51.3%	11.4%	37.3%
12	126	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(手術の第一・第二助手)	22.0%	30.3%	43.5%	42.8%	21.3%	35.9%
13	136	心肺停止患者への電氣的除細動実施	21.4%	35.2%	40.4%	37.7%	43.3%	19.0%
14	2	直接動脈穿刺による採血	21.4%	13.2%	63.1%	46.2%	17.0%	36.8%
15	197	栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	21.4%	41.3%	34.7%	37.9%	48.1%	14.0%
16	107	小児のミルクの種類・量・濃度の決定	21.2%	20.1%	52.5%	42.3%	23.7%	34.0%
17	127	手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(気管切開等の小手術助手)	21.0%	37.3%	37.2%	44.2%	30.7%	25.1%
18	189	リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	21.0%	30.2%	46.5%	42.8%	35.3%	21.9%
19	3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	20.8%	34.4%	41.9%	28.3%	59.3%	12.3%
20	69	褥瘡の壊死組織のデブリードマン	20.8%	15.0%	61.5%	40.7%	12.5%	46.7%
21	82	中心静脈カテーテル抜去	20.7%	24.7%	51.6%	39.3%	26.8%	34.0%
22	21	心臓超音波検査の実施	20.7%	5.0%	70.7%	44.8%	4.6%	50.6%
23	128	手術の補足説明:“術者による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明	20.6%	20.9%	54.7%	44.3%	20.5%	35.2%
24	121	麻酔の補足説明:“麻酔医による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明	20.4%	13.8%	61.8%	45.9%	14.3%	39.8%
25	110	胃ろう、腸ろうのチューブ抜去	20.3%	23.9%	52.4%	40.9%	21.3%	37.8%
26	198	他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	20.3%	33.5%	43.4%	33.1%	42.6%	24.3%
27	137	血液透析・CHDFの操作、管理	20.2%	11.6%	63.8%	48.8%	14.1%	37.1%
28	113	膀胱ろうカテーテルの交換	20.1%	20.3%	55.6%	42.0%	17.9%	40.2%
29	135	心肺停止患者への気道確保、マスク換気	20.1%	38.5%	38.7%	29.3%	55.1%	15.6%

「今後特定看護師(仮称)の実施が可能」 20%超 降順リスト(看護職員回答)

- 「今後特定看護師(仮称)の実施が可能」と答えた割合が一番高かったのは、医師と同様「患者・家族・医療従事者教育」であるが、30.7%に過ぎなかった。ただし、これについては「看護職員(一般)が可能」とする割合の方が高い。
- 一方、研究班の結果では、医師の回答ほどではないが、やはり「特定看護師(仮称)が可能」の割合が高く、5割を超えるものもある。
- 看護職員の回答でも、ほとんどが「医師が実施すべき」であるが、医師より「看護職員(一般)が可能」が大幅に上回るのは「日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)」「栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)」「訪問看護の必要性の判断、依頼」である。
- 「看護職員(一般)」より「特定看護師(仮称)が可能」が大きく上回るのは「人工呼吸器装着中の患者のウイニングスケジュール作成と実施」「腹部超音波検査の実施」等であるが、これらについても「医師が実施すべき」との回答が6割を超える。

※ 緑色の項目は「看護職員が可能」より「特定看護師(仮称)が可能」の方が割合が高い項目

	医療処置項目	日医調査			研究班調査		
		特定看護師(仮称)が可能	看護職員が可能	医師がすべき	特定看護師(仮称)が可能	看護職員(一般)が可能	医師がすべき
1	196 患者・家族・医療従事者教育	30.7%	37.6%	27.5%	34.2%	57.8%	7.9%
2	64 人工呼吸器装着中の患者のウイニングスケジュール作成と実施	29.6%	6.4%	60.1%	54.4%	6.9%	38.7%
3	69 褥瘡の壊死組織のデブリードマン	28.0%	15.0%	53.9%	52.7%	9.3%	38.0%
4	57 気管カニューレの選択・交換	26.9%	13.8%	56.0%	42.3%	13.5%	44.2%
5	61 経口・経鼻挿管チューブの抜管	26.6%	21.8%	48.4%	42.7%	11.8%	45.5%
6	201 認知・行動療法の実施・評価	26.5%	15.0%	51.4%	46.8%	15.7%	37.5%
7	199 家族療法・カウンセリングの依頼	25.8%	29.9%	46.1%	38.4%	43.1%	18.5%
8	189 リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	25.7%	33.5%	38.0%	39.4%	45.2%	15.4%
9	187 訪問看護の必要性の判断、依頼	25.5%	40.3%	31.3%	24.2%	69.6%	6.2%
10	78 体表表面創の抜糸・抜鉤	25.4%	14.2%	57.4%	41.2%	11.8%	47.0%
11	59 挿管チューブの位置調節(深さの調整)	25.4%	12.5%	58.6%	44.5%	15.0%	40.4%
12	137 血液透析・CHDFの操作、管理	24.7%	12.8%	57.8%	38.8%	15.3%	45.9%
13	200 認知・行動療法の依頼	24.6%	22.2%	49.3%	42.3%	27.8%	29.9%
14	128 手術の補足説明:“術者による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明	24.1%	15.0%	56.8%	26.8%	13.0%	60.2%
15	188 日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	23.5%	44.6%	28.9%	25.0%	56.8%	18.1%
16	4 トリアージのための検体検査の実施の決定	23.4%	8.7%	63.9%	47.0%	11.9%	41.1%
17	62 人工呼吸器モードの設定・変更の判断・実施	22.8%	6.6%	66.9%	48.6%	8.8%	42.6%
18	71 巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	22.6%	25.0%	49.3%	40.7%	22.9%	36.5%
19	198 他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	22.4%	39.5%	34.7%	32.7%	53.7%	13.7%
20	18 腹部超音波検査の実施	22.2%	2.2%	72.6%	32.2%	2.8%	65.0%
21	60 経口・経鼻挿管の実施	22.2%	10.6%	64.1%	35.3%	4.4%	60.2%
22	72 肝臓・鶏眼処置(コーンカッター等用いた処置)	22.1%	23.8%	50.5%	36.7%	17.0%	46.3%
23	136 心肺停止患者への電気的除細動実施	21.6%	28.7%	46.6%	35.6%	34.9%	29.6%
24	185 痛みの強さや副作用症状に応じた非オピオイド・鎮痛補助薬の選択と投与量・用法調整:WHO方式がん疼痛治療法等	21.5%	7.4%	67.7%	54.6%	9.9%	35.5%
25	56 酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	21.3%	29.2%	46.8%	32.8%	50.7%	16.4%
26	3 動脈ラインの抜去・圧迫止血	21.3%	25.9%	49.6%	26.7%	46.2%	27.1%
27	183 自己血糖測定開始の決定	21.0%	26.0%	50.2%	37.6%	37.4%	25.0%
28	191 理学療法士・健康運動指導士への運動指導依頼	20.9%	20.0%	55.8%	38.7%	36.0%	25.3%
29	16 経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施	20.8%	11.3%	64.4%	30.5%	23.4%	46.1%
30	197 栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	20.5%	43.8%	32.5%	29.8%	56.9%	13.2%
31	106 治療食(経腸栄養含む)内容の決定・変更	20.5%	20.1%	56.3%	45.4%	23.2%	31.4%
32	121 麻酔の補足説明:“麻酔医による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明	20.4%	8.6%	66.9%	25.5%	11.9%	62.7%
33	107 小児のミルクの種類・量・濃度の決定	20.3%	14.7%	58.7%	41.7%	18.1%	40.0%
34	184 痛みの強さや副作用症状に応じたオピオイドの投与量・用法調整、想定されたオピオイドローテーションの実施時期決定:WHO方式がん疼痛治療法等	20.1%	6.4%	70.0%	53.5%	8.9%	37.6%

ま と め

- 日医の調査は、全国の医療機関(種別、病院の病床規模)を平均的に抽出した回答結果となっている。一方、研究班の調査は500床以上の病院が中心で、認定看護師・専門看護師も対象とするなど、回答者の背景が異なっている。
- 現場では、一定程度、診療の補助行為として看護職員が実施していることがわかった。
- 「今後看護職員(※看護職員(一般)＋特定看護師(仮称))の実施が可能」と答えた割合が50%を超える項目は、日医調査では医師の回答で38項目、看護職員の回答で36項目であった。研究班調査では医師の回答で112項目、看護職員の回答で84項目であった。日医調査では、看護職員が実施可能な医行為の範囲を、より狭く考えていることがわかった。
- 「医師が実施すべき」より「今後看護職員の実施が可能」が上回る項目(医師回答39項目、看護職員回答38項目)について、「看護職員(一般)が実施可能」より、「特定看護師(仮称)が実施可能」が上回るものは1つもない。
- 「今後特定看護師(仮称)の実施が可能」と答えた割合は、最も高いものでも、医師・看護職員とも「患者・家族・医療従事者教育」で、医師回答28%、看護職員30.7%に過ぎなかった。
一方、研究班の調査結果では、最も高いもので5割を超え、対照的な結果となった。

今回の調査結果から、現場では既に、多くの医行為が、医師の指示に基づいて診療の補助として看護職員により実施されていることがわかった。

また、「今後特定看護師(仮称)が実施可能」とする回答は少なかった。

従って、新たな業務独占資格である特定看護師(仮称)を創設することは、一般の看護職員の業務の縮小につながることであり、その必要性はない。

調査結果

1.医療処置項目別回答状況

検査	医療処置項目	医師回答					看護職員回答				
		現在について		今後について			現在について		今後について		
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
		現在看護職員が実施している	医師が実施すべき	看護職員が実施可能			現在看護職員が実施している	医師が実施すべき	看護職員が実施可能		
		計	看護職員が実施可能	特定看護師(仮称)が実施可能			計	看護職員が実施可能	特定看護師(仮称)が実施可能		
1	動脈ラインからの採血	35.1%	41.3%	56.1%	39.3%	18.8%	36.7%	53.7%	43.5%	28.5%	15.0%
2	直接動脈穿刺による採血	4.0%	63.1%	34.6%	13.2%	21.4%	4.9%	72.3%	25.2%	7.5%	17.7%
3	動脈ラインの抜去・圧迫止血	23.7%	41.9%	55.2%	34.4%	20.8%	27.4%	49.6%	47.2%	25.9%	21.3%
4	トリアージのための検体検査の実施の決定	4.6%	64.3%	32.5%	13.2%	19.3%	5.0%	63.9%	32.1%	8.7%	23.4%
5	トリアージのための検体検査結果の評価	2.2%	76.4%	20.5%	7.2%	13.3%	3.0%	76.9%	19.2%	3.9%	15.3%
6	治療効果判定のための検体検査の実施の決定	2.9%	78.6%	18.8%	6.8%	12.0%	3.4%	78.2%	19.6%	5.7%	13.9%
7	治療効果判定のための検体検査結果の評価	1.3%	87.2%	10.4%	3.0%	7.4%	1.5%	88.4%	9.3%	2.0%	7.3%
8	手術前検査の実施の決定	3.1%	75.5%	21.8%	10.7%	11.1%	5.7%	73.3%	23.6%	11.1%	12.5%
9	単純X線撮影の実施の決定	2.4%	72.3%	25.4%	11.7%	13.7%	4.5%	65.3%	32.5%	13.7%	18.8%
10	単純X線撮影の画像評価	0.4%	92.7%	5.9%	1.4%	4.1%	0.6%	90.6%	7.7%	1.1%	6.6%
11	CT、MRI検査の実施の決定	1.0%	81.6%	15.9%	6.3%	9.6%	1.7%	77.8%	19.5%	6.1%	13.4%
12	CT、MRI検査の画像評価	0.3%	94.0%	3.6%	0.7%	2.9%	0.5%	93.4%	4.1%	0.4%	3.7%
13	造影剤使用検査時の造影剤の投与	49.6%	43.3%	53.8%	41.5%	12.3%	56.2%	50.6%	46.1%	33.1%	13.0%
14	IVR時の動脈穿刺、カテーテル挿入・抜去の一部実施	2.2%	79.3%	17.0%	5.9%	11.1%	1.6%	86.7%	9.2%	2.0%	7.2%
15	経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施の決定	4.5%	66.4%	30.0%	14.7%	15.3%	7.2%	68.5%	28.0%	10.5%	17.6%
16	経腹部的膀胱超音波検査(残尿測定目的)の実施	8.3%	56.4%	39.7%	17.5%	22.2%	10.6%	64.4%	32.1%	11.3%	20.8%
17	腹部超音波検査の実施の決定	0.9%	79.6%	17.9%	7.0%	11.0%	1.3%	78.4%	19.3%	4.5%	14.7%
18	腹部超音波検査の実施	0.5%	66.7%	29.9%	6.7%	23.3%	0.4%	72.6%	24.5%	2.2%	22.2%
19	腹部超音波検査の結果の評価	0.3%	88.9%	8.4%	1.6%	6.7%	0.4%	90.9%	6.8%	0.6%	6.2%
20	心臓超音波検査の実施の決定	0.9%	81.8%	15.4%	5.4%	9.9%	0.9%	83.0%	14.3%	2.8%	11.5%
21	心臓超音波検査の実施	0.1%	70.7%	25.6%	5.0%	20.7%	0.2%	78.0%	18.8%	1.4%	17.4%
22	心臓超音波検査の結果の評価	0.3%	90.4%	6.8%	1.2%	5.6%	0.3%	92.4%	4.9%	0.3%	4.6%
23	頸動脈超音波検査の実施の決定	0.6%	79.3%	17.6%	5.8%	11.8%	0.9%	81.1%	15.8%	3.1%	12.7%
24	表在超音波検査の実施の決定	0.6%	77.8%	19.1%	6.2%	13.0%	0.8%	79.4%	17.2%	2.9%	14.3%
25	下肢血管超音波検査の実施の決定	1.0%	78.1%	18.6%	6.6%	12.0%	1.0%	78.9%	17.5%	3.9%	13.7%
26	術後下肢動脈ドップラー検査の実施の決定	4.1%	75.7%	20.8%	8.1%	12.7%	8.7%	74.6%	21.4%	7.0%	14.5%
27	12誘導心電図検査の実施の決定	10.1%	58.4%	39.1%	24.2%	15.0%	17.6%	48.4%	49.0%	32.4%	16.6%
28	12誘導心電図検査の実施	66.1%	13.4%	83.7%	72.8%	10.9%	74.9%	8.6%	88.6%	78.5%	10.1%
29	12誘導心電図検査の結果の評価	2.2%	79.8%	17.5%	6.5%	11.0%	4.1%	76.9%	20.3%	7.2%	13.1%
30	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施の決定	5.4%	61.2%	36.5%	22.4%	14.1%	7.3%	55.0%	42.9%	25.7%	17.2%
31	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の実施	44.9%	22.2%	75.0%	61.0%	14.0%	51.7%	23.6%	74.2%	59.9%	14.3%
32	感染症検査(インフルエンザ・ノロウイルス等)の結果の評価	6.8%	70.1%	27.5%	17.7%	9.8%	8.3%	69.2%	28.9%	17.2%	11.7%
33	薬剤感受性検査実施の決定	2.3%	73.1%	24.5%	11.6%	12.9%	2.8%	75.1%	22.5%	9.0%	13.4%
34	真菌検査の実施の決定	3.1%	68.5%	29.3%	16.4%	12.9%	4.6%	63.9%	33.7%	16.9%	16.8%
35	真菌検査の結果の評価	2.1%	79.6%	18.2%	9.3%	8.9%	2.0%	79.3%	18.3%	7.7%	10.6%
36	微生物学検査実施の決定	1.6%	71.7%	25.8%	13.4%	12.4%	2.0%	74.6%	22.7%	8.7%	14.0%
37	微生物学検査の実施:スワブ法	33.3%	41.0%	55.4%	42.3%	13.0%	37.6%	48.0%	48.7%	35.1%	13.6%
38	薬物血中濃度検査(TDM)実施の決定	1.0%	76.9%	20.1%	8.4%	11.7%	1.7%	77.8%	18.9%	6.0%	12.9%
39	スパイロメトリーの実施の決定	2.4%	72.5%	24.4%	11.7%	12.7%	3.7%	72.2%	23.2%	8.0%	15.2%
40	直腸内圧測定・肛門内圧測定実施の決定	0.9%	78.7%	16.7%	6.0%	10.7%	1.5%	82.5%	13.0%	2.8%	10.4%
41	直腸内圧測定・肛門内圧測定の実施	3.6%	59.4%	35.5%	17.5%	18.0%	3.7%	74.1%	20.8%	6.0%	14.7%
42	膀胱内圧測定実施の決定	1.3%	79.0%	16.5%	6.2%	10.4%	1.3%	82.9%	12.4%	2.6%	9.8%
43	膀胱内圧測定の実施	6.6%	61.9%	32.9%	15.1%	17.8%	8.1%	75.0%	19.9%	5.8%	14.1%
44	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施の決定	1.2%	77.3%	18.8%	8.0%	10.8%	1.9%	80.2%	14.8%	3.8%	11.0%
45	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の実施	27.1%	48.2%	48.9%	30.3%	18.6%	25.3%	63.5%	30.9%	14.0%	16.9%
46	血流評価検査(ABI/PWV/SPP)検査の結果の評価	0.8%	83.9%	12.0%	4.5%	7.6%	0.8%	86.6%	8.4%	1.3%	7.1%
47	骨密度検査の実施の決定	1.9%	70.4%	26.8%	14.4%	12.4%	2.7%	67.5%	29.3%	12.4%	16.9%
48	骨密度検査の結果の評価	1.4%	78.2%	18.9%	9.1%	9.7%	1.2%	78.4%	18.6%	6.0%	12.7%
49	嚥下造影の実施の決定	1.2%	78.2%	18.3%	7.7%	10.6%	1.5%	74.2%	21.6%	5.6%	16.1%
50	嚥下内視鏡検査の実施の決定	0.9%	81.8%	14.4%	5.9%	8.5%	1.2%	79.6%	16.6%	3.8%	12.8%
51	嚥下内視鏡検査の実施	0.2%	89.4%	6.8%	1.6%	5.2%	0.6%	89.4%	6.5%	0.5%	6.0%
52	眼底検査の実施の決定	1.5%	77.4%	19.2%	8.2%	11.0%	1.8%	78.6%	17.6%	5.8%	12.0%
53	眼底検査の実施	12.3%	60.1%	35.8%	18.6%	17.2%	14.5%	65.0%	30.7%	12.9%	17.8%
54	眼底検査の結果の評価	0.3%	90.9%	5.8%	1.6%	4.1%	0.3%	90.1%	6.0%	1.0%	5.0%
55	ACT(活性化凝固時間)の測定実施の決定	2.1%	74.9%	20.3%	9.2%	11.1%	2.8%	76.2%	18.3%	6.0%	12.4%

	医療処置項目	医師回答					看護職員回答						
		現在について	今後について				現在について	今後について					
			A	B	C	D		E	A	B	C	D	E
呼吸器	56	酸素投与の開始、中止、投与量の調整の判断	22.1%	55.9%	41.8%	23.2%	18.6%	33.8%	46.8%	50.5%	29.2%	21.3%	
	57	気管カニューレの選択・交換	10.0%	50.2%	46.5%	20.6%	25.9%	11.8%	56.0%	40.7%	13.8%	26.9%	
	58	経皮的気管穿刺針(トラヘルパー等)の挿入	0.6%	82.2%	14.6%	3.6%	10.9%	0.7%	81.6%	14.6%	2.1%	12.5%	
	59	挿管チューブの位置調節(深さの調整)	13.7%	49.7%	47.3%	21.7%	25.7%	12.2%	58.6%	37.9%	12.5%	25.4%	
	60	経口・経鼻挿管の実施	10.2%	65.3%	31.9%	12.0%	19.9%	7.6%	64.1%	32.8%	10.6%	22.2%	
	61	経口・経鼻挿管チューブの抜管	16.0%	45.5%	51.7%	27.3%	24.3%	12.8%	48.4%	48.4%	21.8%	26.6%	
	62	人工呼吸器モードの設定・変更の判断・実施	10.0%	66.2%	30.6%	8.6%	22.0%	13.9%	66.9%	29.4%	6.6%	22.8%	
	63	人工呼吸管理下の鎮静管理	20.4%	66.0%	30.7%	11.4%	19.3%	33.1%	65.6%	30.8%	12.0%	18.8%	
	64	人工呼吸器装着中の患者のウイニングスケジュール作成と実施	3.2%	72.4%	24.1%	5.0%	19.1%	8.2%	60.1%	36.1%	6.4%	29.6%	
	65	小児の人工呼吸器の選択:HFO対応か否か	0.0%	86.2%	7.5%	0.9%	6.6%	0.5%	88.2%	5.8%	0.3%	5.5%	
	66	NPPV開始、中止、モード設定	4.1%	80.3%	14.4%	2.8%	11.6%	12.3%	76.1%	19.1%	4.1%	15.0%	
	処置・創傷処置	67	洗腸の実施の決定	25.6%	42.0%	55.5%	40.8%	14.7%	38.6%	32.9%	65.1%	50.3%	14.8%
		68	創部洗浄・消毒	56.9%	16.0%	81.2%	65.2%	16.1%	62.5%	15.4%	82.3%	66.2%	16.0%
69		褥瘡の壊死組織のデブリードマン	7.5%	61.5%	35.8%	15.0%	20.8%	9.1%	53.9%	43.0%	15.0%	28.0%	
70		電気凝固メスによる止血(褥瘡部)	0.2%	77.8%	19.0%	5.4%	13.6%	0.2%	78.6%	18.1%	2.7%	15.4%	
71		巻爪処置(ニッパー、ワイヤーを用いた処置)	20.3%	49.0%	48.0%	30.2%	17.6%	23.3%	49.3%	47.7%	25.0%	22.6%	
72		胼胝・鶏眼処置(コンカッター等を用いた処置)	19.0%	44.3%	52.4%	32.6%	19.8%	20.2%	50.5%	45.9%	23.8%	22.1%	
73		皮下腫瘍の切開・排膿:皮下組織まで	0.5%	79.9%	17.4%	5.2%	12.2%	1.2%	79.3%	18.4%	4.8%	13.6%	
74		創傷の陰圧閉鎖療法の実施	12.0%	67.5%	27.8%	12.7%	15.1%	17.3%	71.0%	24.8%	8.9%	15.9%	
75		表創(非感染創)の縫合:皮下組織まで(手術室外で)	0.3%	79.7%	17.7%	3.4%	14.3%	0.3%	83.4%	14.0%	1.6%	12.4%	
76		非感染創の縫合:皮下組織から筋層まで(手術室外で)	0.1%	85.9%	11.3%	2.1%	9.2%	0.1%	90.8%	6.5%	0.7%	5.8%	
77		医療用ホットキス(スキンステープラー)の使用(手術室外で)	0.8%	74.0%	22.6%	6.9%	15.7%	0.8%	79.1%	17.4%	3.5%	13.9%	
78		体表面創の糸系・抜釘	1.7%	48.9%	48.3%	23.7%	24.7%	2.0%	57.4%	39.6%	14.2%	25.4%	
79		動脈ライン確保	3.1%	79.4%	17.1%	4.0%	13.1%	2.0%	86.2%	10.2%	1.3%	8.9%	
80		末梢静脈挿入式静脈カテーテル(PICC)※挿入 *PICC:肘の静脈(尺側皮静脈、橈側皮静脈、肘正中皮静脈など)を 穿刺して長いカテーテルを挿入し、腋窩静脈、鎖骨下静脈を経由して 上大静脈に先端を位置させる。超音波検査により静脈の走行、状態 を確認し、エコーガイド下で静脈を穿刺するので、安全性は高い。肘 の屈曲にかかわらず安定した輸液速度が保てること、穿刺時の安全 性が高い。	2.1%	82.4%	12.0%	2.6%	9.4%	1.5%	89.0%	5.9%	0.9%	5.1%	
81		中心静脈カテーテル挿入	0.1%	93.7%	3.7%	0.4%	3.2%	0.1%	94.4%	2.7%	0.3%	2.4%	
82		中心静脈カテーテル抜去	8.0%	51.6%	45.4%	24.7%	20.7%	7.6%	62.8%	33.8%	14.4%	19.4%	
83		尿管・胆管チューブの管理:洗浄	9.6%	60.7%	35.1%	18.1%	16.9%	9.0%	68.8%	26.8%	11.3%	15.5%	
84		尿管・胆管チューブの入れ替え	0.0%	87.6%	8.4%	2.7%	5.7%	0.4%	93.0%	3.0%	0.6%	2.4%	
85		腹腔穿刺(一時的なカテーテル留置を含む)	0.0%	93.1%	3.6%	0.6%	3.0%	0.3%	94.7%	1.7%	0.2%	1.5%	
86		腹腔ドレーン抜去(腹腔穿刺後の抜針含む)	3.1%	64.1%	32.4%	16.2%	16.2%	4.3%	74.2%	22.1%	7.8%	14.3%	
87		胸腔穿刺	0.0%	94.4%	2.6%	0.3%	2.3%	0.2%	95.7%	1.0%	0.0%	1.0%	
88		胸腔ドレーン抜去	1.1%	70.4%	26.3%	12.2%	14.1%	1.2%	81.5%	14.8%	4.2%	10.6%	
89		胸腔ドレーン低圧持続吸引中の吸引圧の設定・変更	17.3%	70.2%	26.5%	11.4%	15.1%	31.6%	74.1%	22.0%	10.2%	11.9%	
90		心嚢ドレーン抜去	0.0%	80.4%	15.1%	6.3%	8.8%	0.6%	90.1%	5.7%	1.1%	4.5%	
91		創部ドレーン抜去	2.0%	60.8%	35.5%	19.3%	16.2%	2.3%	70.5%	25.8%	9.3%	16.5%	
92		創部ドレーン短切(カット)	1.9%	61.6%	34.5%	18.4%	16.1%	1.2%	70.6%	25.5%	9.5%	16.0%	
93		「一時的ペースメーカー」の操作・管理	3.9%	83.2%	12.9%	3.4%	9.5%	13.7%	81.5%	14.1%	3.9%	10.2%	
94		「一時的ペースメーカー」の抜去	0.1%	81.1%	14.8%	4.8%	10.0%	0.8%	89.0%	6.6%	0.9%	5.6%	
95		PCPS等補助循環の管理・操作	2.2%	84.8%	9.7%	1.7%	8.0%	5.3%	86.1%	8.8%	1.4%	7.4%	
96		大動脈バルーンポンピングチューブの抜去	0.0%	87.3%	7.7%	1.9%	5.8%	0.4%	92.0%	3.4%	0.5%	2.9%	
97		小児のCT・MRI検査時の鎮静実施の決定	1.1%	82.9%	11.5%	3.8%	7.7%	1.9%	87.2%	6.9%	2.1%	4.8%	
98	小児のCT・MRI検査時の鎮静の実施	16.8%	69.2%	25.0%	12.6%	12.4%	25.3%	78.2%	15.7%	8.3%	7.4%		
99	小児の臍カテーテル:臍動脈の輸液路確保	0.0%	82.2%	10.9%	2.9%	8.0%	0.7%	89.8%	3.9%	0.8%	3.1%		
100	幹細胞移植:接続と滴数調整	2.0%	82.3%	10.7%	3.5%	7.1%	6.9%	87.0%	6.6%	2.2%	4.4%		
101	関節穿刺	0.2%	91.4%	4.8%	1.0%	3.7%	0.4%	93.8%	2.1%	0.3%	1.8%		
102	導尿・留置カテーテルの挿入及び抜去の決定	21.6%	55.4%	41.8%	26.6%	15.2%	41.7%	40.5%	56.4%	42.8%	13.7%		
103	導尿・留置カテーテルの挿入の実施	77.7%	20.0%	76.5%	62.8%	13.7%	88.1%	13.1%	83.3%	74.5%	8.7%		

	医療処置項目	医師回答					看護職員回答					
		現在について		今後について			現在について		今後について			
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
		現在 看護職員が 実施している	医師が 実施すべき	計	看護職員が 実施可能	特定看護師 (仮称)が 実施可能	現在 看護職員が 実施している	医師が 実施すべき	計	看護職員が 実施可能	特定看護師 (仮称)が 実施可能	
日常生活関係	104 飲水の開始・中止の決定	11.0%	60.9%	36.8%	22.6%	14.1%	17.4%	53.9%	43.3%	27.7%	15.7%	
	105 食事の開始・中止の決定	9.6%	62.4%	35.4%	21.3%	14.2%	16.4%	55.2%	42.0%	26.7%	15.3%	
	106 治療食(経腸栄養含む)内容の決定・変更	9.7%	59.1%	38.3%	19.5%	18.8%	12.7%	56.3%	40.6%	20.1%	20.5%	
	107 小児のミルクの種類・量・濃度の決定	15.1%	52.5%	41.3%	20.1%	21.2%	18.8%	58.7%	35.0%	14.7%	20.3%	
	108 小児の経口電解質液の開始と濃度、量の決定	5.4%	65.2%	28.9%	12.5%	16.3%	5.2%	72.2%	21.3%	7.5%	13.9%	
	109 腸ろうの管理、チューブの入れ替え	4.4%	67.9%	28.2%	12.2%	16.0%	3.3%	77.2%	18.9%	5.4%	13.5%	
	110 胃ろう、腸ろうのチューブ抜去	6.7%	52.4%	44.2%	23.9%	20.3%	5.4%	62.4%	33.8%	13.9%	19.9%	
	111 経管栄養用の胃管の挿入、入れ替え	36.3%	49.9%	46.8%	29.8%	17.0%	52.9%	43.9%	52.4%	38.4%	14.0%	
	112 胃ろうチューブ・ボタンの交換	4.0%	61.5%	35.3%	16.1%	19.2%	2.8%	69.9%	26.3%	9.4%	16.9%	
	113 膀胱ろうカテーテルの交換	8.3%	55.6%	40.5%	20.3%	20.1%	7.9%	69.0%	26.9%	10.9%	16.0%	
	114 安静度・活動や清潔の範囲の決定	25.3%	43.6%	53.5%	33.8%	19.7%	33.5%	37.1%	59.4%	41.2%	18.2%	
	115 隔離の開始と解除の判断	16.9%	59.9%	37.3%	22.5%	14.8%	23.3%	53.4%	43.3%	26.7%	16.6%	
	116 拘束の開始と解除の判断	39.2%	50.6%	46.2%	30.7%	15.5%	53.7%	41.3%	55.0%	40.3%	14.7%	
	117 全身麻酔の導入	1.2%	90.2%	5.4%	1.3%	4.1%	2.4%	92.6%	3.0%	0.7%	2.4%	
	手術	118 術中の麻酔・呼吸・循環管理(麻酔深度の調節、薬剤・酸素投与濃度、輸液量等の調整)	3.9%	84.1%	12.3%	2.5%	9.8%	7.5%	89.7%	6.6%	1.3%	5.3%
		119 麻酔の覚醒	1.5%	85.0%	11.3%	2.7%	8.6%	3.0%	87.5%	8.3%	2.1%	6.2%
120 局所麻酔(硬膜外・腰髄)		0.1%	93.2%	3.2%	0.3%	2.9%	0.1%	94.8%	1.3%	0.1%	1.2%	
121 麻酔の補足説明:“麻酔医による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明		13.6%	61.8%	34.2%	13.8%	20.4%	13.0%	66.9%	29.0%	8.6%	20.4%	
122 神経ブロック		0.1%	94.7%	1.6%	0.1%	1.4%	0.1%	95.5%	1.0%	0.1%	0.9%	
123 硬膜外チューブの抜去		5.0%	62.4%	33.6%	16.9%	16.7%	5.2%	72.8%	22.8%	8.2%	14.5%	
124 皮膚表面の麻酔(注射)		0.4%	81.0%	15.6%	4.6%	11.1%	0.7%	84.3%	11.8%	2.8%	9.0%	
125 手術執刀までの準備(体位、消毒)		38.0%	38.6%	57.3%	38.8%	18.5%	40.4%	43.3%	52.6%	33.8%	18.9%	
126 手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(手術の第一・第二助手)		42.3%	43.5%	52.3%	30.3%	22.0%	40.3%	56.0%	39.5%	21.4%	18.1%	
127 手術時の臓器や手術器械の把持及び保持(気管切開等の小手術助手)		51.8%	37.2%	58.3%	37.3%	21.0%	48.3%	50.5%	45.1%	26.7%	18.4%	
128 手術の補足説明:“術者による患者とのリスク共有も含む説明”を補足する時間をかけた説明		18.3%	54.7%	41.5%	20.9%	20.6%	20.7%	56.8%	39.1%	15.0%	24.1%	
129 術前サマリーの作成		22.2%	58.3%	38.1%	19.9%	18.2%	21.5%	60.3%	35.1%	17.1%	18.1%	
130 手術サマリーの作成		12.5%	70.6%	25.5%	13.3%	12.2%	12.7%	69.7%	25.9%	12.4%	13.5%	
緊急対応	131 血糖値に応じたインスリン投与量の判断	10.8%	68.4%	29.4%	14.2%	15.2%	17.8%	70.0%	27.8%	14.5%	13.3%	
	132 低血糖時のブドウ糖投与	58.1%	22.6%	75.0%	59.0%	16.0%	72.0%	18.2%	79.3%	67.9%	11.4%	
	133 脱水の判断と補正(点滴)	5.8%	65.4%	32.5%	16.5%	16.1%	14.8%	55.8%	42.0%	22.2%	19.8%	
	134 末梢血管静脈ルートの確保と輸液剤の投与	76.6%	23.3%	73.9%	58.8%	15.1%	86.9%	17.8%	79.5%	68.9%	10.5%	
	135 心肺停止患者への気道確保、マスク換気	32.0%	38.7%	58.6%	38.5%	20.1%	54.5%	34.5%	62.4%	46.5%	15.9%	
	136 心肺停止患者への電気的除細動実施	13.0%	40.4%	56.6%	35.2%	21.4%	16.5%	46.6%	50.2%	28.7%	21.8%	
	137 血液透析・CHDFの操作、管理	25.3%	63.8%	31.8%	11.6%	20.2%	37.4%	57.8%	37.6%	12.8%	24.7%	
	138 救急時の輸液路確保目的の骨髄穿刺(小児)	1.6%	84.1%	10.4%	3.5%	6.8%	2.0%	92.1%	2.9%	0.5%	2.4%	
予防医療	139 予防接種の実施判断	2.3%	71.0%	26.9%	13.6%	13.4%	3.4%	78.3%	19.5%	8.6%	10.8%	
	140 予防接種の実施	43.7%	25.8%	71.5%	57.0%	14.5%	50.0%	33.4%	64.2%	52.6%	11.6%	
	141 特定健診などの健康診査の実施	25.8%	43.6%	53.4%	37.0%	16.3%	37.2%	46.5%	50.5%	36.0%	14.5%	
	142 子宮頸がん検診:細胞診のオーダー(一次スクリーニング)、検体採取	2.1%	63.5%	32.1%	14.1%	18.0%	2.6%	77.9%	17.9%	5.2%	12.7%	
	143 前立腺がん検診:触診・PSAオーダー(一次スクリーニング)	1.2%	73.5%	23.1%	9.8%	13.3%	2.4%	82.5%	14.4%	4.4%	10.0%	
	144 大腸がん検診:便潜血オーダー(一次スクリーニング)	7.6%	51.9%	45.1%	28.2%	16.9%	9.0%	65.5%	31.5%	17.8%	13.7%	
	145 乳がん検診:視診・触診(一次スクリーニング)	0.7%	72.4%	23.6%	8.3%	15.3%	0.9%	78.5%	17.6%	4.1%	13.5%	
(投与中薬剤の病態に応じた薬剤使用)	146 高脂血症用剤	5.1%	79.6%	18.2%	11.3%	6.9%	16.1%	69.6%	27.5%	20.6%	6.9%	
	147 降圧剤	8.3%	80.5%	17.5%	11.7%	5.8%	23.5%	67.6%	30.1%	23.5%	6.6%	
	148 糖尿病治療薬	7.1%	82.2%	15.8%	10.5%	5.3%	21.1%	69.0%	28.6%	21.7%	6.9%	
	149 排尿障害治療薬	5.4%	81.0%	16.8%	10.7%	6.0%	17.3%	70.8%	26.4%	19.9%	6.5%	
	150 子宮収縮抑制剤	6.8%	83.4%	12.8%	7.6%	5.2%	19.9%	74.3%	21.4%	15.1%	6.3%	
	151 K、Cl、Na	5.6%	82.4%	15.4%	9.3%	6.0%	17.8%	72.2%	24.8%	18.5%	6.3%	
	152 カテコラミン	8.0%	83.6%	14.1%	8.9%	5.3%	19.8%	73.2%	23.4%	17.7%	5.7%	
	153 利尿剤	8.8%	79.1%	19.0%	12.3%	6.7%	23.2%	68.3%	29.1%	23.1%	6.0%	
	154 基本的な輸液:高カロリー輸液	9.2%	75.8%	21.6%	12.6%	9.0%	25.6%	62.8%	34.0%	23.6%	10.4%	
	155 指示された期間内に薬がなくなった場合の継続薬剤(全般)の継続使用	18.8%	51.8%	45.3%	31.6%	13.6%	25.2%	49.9%	47.2%	32.3%	14.9%	

	医療処置項目	医師回答					看護職員回答				
		現在について		今後について			現在について		今後について		
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
		現在 看護職員が 実施している	医師が 実施すべき	看護職員が実施可能			現在 看護職員が 実施している	医師が 実施すべき	看護職員が実施可能		
計	看護職員が 実施可能			特定看護師 (仮称)が 実施可能	計	看護職員が 実施可能			特定看護師 (仮称)が 実施可能		
薬剤の選択・使用 (臨時薬)	156 下剤(坐薬も含む)	50.4%	35.7%	62.0%	50.2%	11.7%	63.3%	29.2%	68.4%	59.3%	9.2%
	157 胃薬:制酸剤	31.0%	44.1%	53.7%	42.5%	11.2%	47.2%	37.6%	59.9%	50.9%	9.0%
	158 胃薬:胃粘膜保護剤	30.5%	43.6%	54.2%	43.2%	11.0%	46.4%	37.6%	59.9%	50.7%	9.2%
	159 整腸剤	32.2%	41.4%	56.3%	44.7%	11.6%	48.3%	35.3%	62.2%	52.7%	9.5%
	160 制吐剤	35.7%	43.3%	54.6%	44.2%	10.4%	50.9%	36.7%	61.3%	53.0%	8.4%
	161 止痢剤	33.4%	43.9%	54.0%	43.5%	10.6%	49.3%	36.7%	61.3%	52.9%	8.4%
	162 鎮痛剤	40.0%	45.2%	52.8%	43.3%	9.4%	55.0%	36.4%	61.7%	53.3%	8.4%
	163 解熱剤	42.6%	42.6%	55.2%	45.2%	10.0%	56.1%	35.1%	62.7%	54.2%	8.5%
	164 去痰剤(小児)	21.6%	53.9%	41.8%	32.1%	9.7%	32.2%	55.8%	40.3%	32.3%	8.0%
	165 抗けいれん薬(小児)	22.0%	65.5%	30.4%	22.0%	8.3%	34.6%	61.7%	34.6%	27.7%	6.9%
	166 インフルエンザ薬	19.1%	65.1%	32.8%	24.3%	8.5%	34.3%	56.8%	40.9%	33.7%	7.2%
	167 外用薬	43.7%	37.9%	59.9%	48.4%	11.5%	58.1%	30.3%	67.6%	57.2%	10.4%
	168 創傷被覆材(ドレッシング材)	47.5%	35.4%	61.9%	48.3%	13.6%	63.3%	27.5%	69.8%	57.2%	12.6%
	169 睡眠剤	37.4%	55.3%	42.7%	35.1%	7.6%	51.8%	46.0%	51.9%	45.1%	6.8%
	170 抗精神病薬	24.3%	72.1%	26.1%	19.7%	6.4%	40.3%	60.9%	36.8%	30.5%	6.3%
	171 抗不安薬	28.2%	66.0%	32.0%	24.7%	7.3%	42.6%	57.6%	40.1%	33.3%	6.7%
	172 ネブライザーの開始、使用薬液の選択	24.9%	53.6%	44.1%	29.8%	14.4%	36.5%	46.7%	50.7%	35.6%	15.1%
173 感染徴候時の薬物(抗生剤等)の選択(全身投与、局所投与等)	6.7%	85.4%	12.8%	6.8%	6.0%	11.5%	82.0%	15.6%	8.4%	7.2%	
174 抗菌剤開始時期の決定、変更時期の決定	3.5%	88.8%	9.4%	4.3%	5.1%	5.4%	86.1%	11.7%	4.8%	6.9%	
175 基本的な輸液:糖質輸液、電解質輸液	20.5%	62.1%	35.7%	22.0%	13.7%	39.0%	51.9%	45.6%	29.4%	16.1%	
薬剤の選択・使用 (特別な薬剤等)	176 血中濃度モニタリングに対応した抗不整脈剤の使用	6.6%	87.8%	9.4%	3.6%	5.8%	18.5%	82.3%	14.5%	7.4%	7.2%
	177 化学療法副作用出現時の症状緩和の薬剤選択、処置	10.1%	79.0%	18.1%	6.1%	12.0%	23.8%	73.4%	23.3%	9.3%	14.0%
	178 抗癌剤等の皮下漏出時のステロイド薬の選択、局所注射の実施	4.8%	82.4%	14.4%	4.7%	9.7%	8.8%	81.3%	15.4%	4.6%	10.8%
	179 放射線治療による副作用出現時の外用薬の選択	5.6%	73.1%	23.1%	8.7%	14.4%	11.1%	70.3%	25.7%	7.6%	18.0%
	180 副作用症状の確認による薬剤の中止、減量、変更の決定	4.1%	84.6%	12.8%	4.9%	7.9%	6.8%	82.9%	13.9%	4.5%	9.4%
	181 家族計画(避妊)における低用量ピル	6.3%	66.7%	28.1%	10.6%	17.5%	7.9%	68.3%	26.8%	7.0%	19.8%
	182 硬膜外チューブからの鎮痛剤の投与(投与量の調整)	22.4%	68.6%	27.7%	13.8%	14.0%	36.3%	68.3%	27.6%	14.3%	13.3%
	183 自己血糖測定開始の決定	7.5%	66.8%	30.6%	15.3%	15.2%	20.5%	50.2%	47.0%	26.0%	21.0%
	184 痛みの強さや副作用症状に応じたオピオイドの投与量・用法調整、想定されたオピオイドローテーションの実施時期決定:WHO方式がん疼痛治療法等	5.1%	75.3%	21.9%	6.8%	15.1%	10.6%	70.0%	26.4%	6.4%	20.1%
	185 痛みの強さや副作用症状に応じた非オピオイド・鎮痛補助薬の選択と投与量・用法調整:WHO方式がん疼痛治療法等	5.8%	72.5%	24.7%	8.1%	16.6%	11.8%	67.7%	28.9%	7.4%	21.5%
186 がんの転移、浸潤に伴う苦痛症状のための薬剤の選択と評価	3.5%	79.7%	17.4%	4.9%	12.5%	8.2%	72.0%	24.5%	4.6%	19.8%	
その他	187 訪問看護の必要性の判断、依頼	24.2%	40.4%	57.0%	34.8%	22.2%	39.6%	31.3%	65.8%	40.3%	25.5%
	188 日々の病状、経過の補足説明(時間をかけた説明)	44.8%	26.8%	70.6%	47.8%	22.8%	48.2%	28.9%	68.1%	44.6%	23.5%
	189 リハビリテーション(嚥下、呼吸、運動機能アップ等)の必要性の判断、依頼	15.4%	46.5%	51.2%	30.2%	21.0%	25.3%	38.0%	59.2%	33.5%	25.7%
	190 整形外科領域の補助具の決定、注文	7.6%	68.7%	28.3%	13.7%	14.6%	10.4%	63.7%	32.6%	12.9%	19.7%
	191 理学療法士・健康運動指導士への運動指導依頼	7.8%	59.1%	38.3%	20.9%	17.4%	11.8%	55.8%	41.0%	20.0%	20.9%
	192 他科への診療依頼	5.0%	76.7%	21.4%	12.6%	8.8%	10.8%	72.7%	25.0%	14.3%	10.8%
	193 他科・他院への診療情報提供書作成(紹介および返信)	1.9%	77.0%	21.2%	10.0%	11.1%	2.6%	81.8%	15.6%	5.5%	10.1%
	194 在宅で終末期ケアを実施してきた患者の死亡確認	2.3%	74.2%	23.2%	11.5%	11.7%	1.8%	82.7%	14.4%	5.4%	8.9%
	195 退院サマリー(病院全体)の作成	22.0%	57.8%	39.0%	23.4%	15.5%	33.3%	55.3%	40.2%	23.4%	16.8%
	196 患者・家族・医療従事者教育	39.7%	31.4%	65.3%	37.2%	28.0%	57.7%	27.5%	68.3%	37.6%	30.7%
	197 栄養士への食事指導依頼(既存の指示内容で)	25.5%	34.7%	62.7%	41.3%	21.4%	36.6%	32.5%	64.3%	43.8%	20.5%
	198 他の介護サービスの実施可・不可の判断(リハビリ、血圧・体温など)	20.1%	43.4%	53.8%	33.5%	20.3%	32.5%	34.7%	61.9%	39.5%	22.4%
	199 家族療法・カウンセリングの依頼	22.3%	41.2%	55.4%	32.8%	22.6%	21.9%	40.1%	55.7%	29.9%	25.8%
200 認知・行動療法の依頼	9.9%	51.6%	44.8%	24.8%	19.9%	11.8%	49.3%	46.8%	22.2%	24.6%	
201 認知・行動療法の実施・評価	11.4%	58.7%	37.6%	18.6%	19.0%	12.3%	54.4%	41.5%	15.0%	26.5%	
202 支持的精神療法の実施の決定	5.9%	64.8%	31.1%	15.5%	15.7%	5.5%	65.1%	30.3%	10.8%	19.5%	
203 患者の入院と退院の判断	3.7%	84.3%	13.5%	6.8%	6.8%	6.3%	82.1%	14.7%	6.6%	8.1%	

【現在について】

- ・A(現在看護職員が実施している):すべての回答(①「この医行為は実施されていない」を選択した回答を除く。)のうち、②「看護職員が実施している」を選択した回答の割合

【今後について】

- ・B(医師が実施すべき):すべての回答のうち、④「医師が実施すべき」を選択した回答の割合
- ・C(看護職員が実施可能 計):すべての回答のうち、⑤「看護職員が実施可能」⑥「特定看護師(仮称)が実施可能」を選択した回答の割合
- ・D(看護職員が実施可能):すべての回答のうち、⑤「看護職員が実施可能」を選択した回答の割合
- ・E(特定看護師(仮称)が実施可能):すべての回答のうち、⑥「特定看護師(仮称)が実施可能」を選択した回答の割合

2. 現在看護職員が実施していない医行為について

○看護職員が医行為を実施していない理由

	医師		看護職員		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
技術や知識が不足しているから	1997	56.7%	2080	59.3%	4077	58.0%
法律の問題	2677	75.9%	2865	81.7%	5542	78.8%
マンパワーの問題	361	10.2%	596	17.0%	957	13.6%
必要と思わないから	900	25.5%	569	16.2%	1469	20.9%
その他	220	6.2%	246	7.0%	466	6.6%

※無回答は記載していない

回答者数	3525	3506	7031
------	------	------	------

3. 現在看護職員が実施している医行為について

①看護職員が医行為を実施している状況

	医師		看護職員		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
系統だった院内教育や実習などを経た上で 行っている	2037	57.8%	2361	67.3%	4398	62.6%
何となく行われている	1319	37.4%	919	26.2%	2238	31.8%

※無回答は記載していない

回答者数	3525	3506	7031
------	------	------	------

②問題が生じたときの責任

	医師		看護職員		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
明確になっている	2523	71.6%	2166	61.8%	4689	66.7%
明確ではない	921	26.1%	1193	34.0%	2114	30.1%

※無回答は記載していない

回答者数	3525	3506	7031
------	------	------	------

③責任の所在(②で「明確になっている」と回答した者のみ回答)

	医師		看護職員		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
医師の責任	1745	69.2%	977	45.1%	2722	58.1%
看護職員の責任	49	1.9%	248	11.4%	297	6.3%
共同責任	629	24.9%	720	33.2%	1349	28.8%

※無回答は記載していない

回答者数	2523	2166	4689
------	------	------	------

④医行為を実施している場合の給与面でのインセンティブ

	医師		看護職員		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
ある	239	6.8%	202	5.8%	441	6.3%
ない	3204	90.9%	3129	89.2%	6333	90.1%

※無回答は記載していない

回答者数	3525	3506	7031
------	------	------	------

4.他職種による実施について(看護職員のみ回答)

(看護職員が現在行っている業務の中で、他職種による実施が適当と考えられる業務について)

番号	項目	現在				今後	
		看護職員のみが実施		他職種と分担して実施		他職種による実施が適当	
		回答数(人)	比率	回答数(人)	比率	回答数(人)	比率
1	注射薬のミキシング	2,059	58.7%	963	27.5%	1,359	38.8%
2	持参薬整理や内服薬の分包などの管理	935	26.7%	1,909	54.4%	1,881	53.7%
3	採血	2,302	65.7%	901	25.7%	1,016	29.0%
4	配置薬(救急カート内の薬品を含む)点検と補充	1,677	47.8%	1,321	37.7%	1,396	39.8%
5	検査やリハビリ等の送迎	648	18.5%	2,030	57.9%	1,914	54.6%
6	身体計測	1,651	47.1%	1,372	39.1%	1,559	44.5%
7	看護記録等の入力	2,655	75.7%	468	13.3%	280	8.0%
8	カルテ等の書類整理	942	26.9%	2,031	57.9%	1,646	46.9%
9	案内(病棟オリエンテーションや病院案内等)	1,103	31.5%	1,645	46.9%	1,762	50.3%
10	説明(検査や処置に関する事前説明等)	1,961	55.9%	1,219	34.8%	865	24.7%
11	配膳・下膳	407	11.6%	2,003	57.1%	1,836	52.4%

※未回答については、記載していない。

【日医追加項目】

5. たんの吸引について

	今後について			
	医師または看護職員が実施すべき		介護職員が実施可能	
	医師	看護職員	医師	看護職員
たんの吸引(咽頭の手前)	12.1%	12.1%	85.0%	84.7%